やさしいうすき実行委員会

匹田くみこ 市議会たより

臼杵市大字臼杵70-16 (やさしいうすき事務所)
臼杵市井村1960番地 (自宅)
TEL&FAX　0972-63-7140
メール　kuu.okok@gmail.com
公式LINEをはじめました。登録してください→

2021年 2月
冬号

暮らしは政治。
安心して暮らせる
地域のあり方を
みなさんと考えたい。

1月28日「臼杵市議会1月臨時会」が開かれました

一般会計補正予算額　8,851万7千円を追加
令和2年度予算総額　284億8,013万3千円
［主な使いみち］
①新型コロナウィルスワクチン接種を実施するための体制づくり
②市内の小規模事業者等に対し事業の継続を支援

新型コロナウイルス対策関連

① 新型コロナウィルスワクチン接種について

臼杵市では、県や市医師会と連携しワクチン接種に向けた準備を進めています。
1月25日に子ども子育て課「ちあぽーと」内に「新型コロナワクチン接種対策室」を設置。体制整備や情報の収集などさまざまな調整を行なっています。「基本型接種施設」と呼ばれる拠点は、コスモス病院に設けてディープフリーザー(超低温冷凍庫)でワクチンを管理。そこからいくつかの「連携接種施設」にワクチンを移送して接種を実施します。

【スケジュール(予定)】
３月中頃～ 医療従事者（約1000人目安）
３月末頃～ 高齢者(65歳以上)（約15000人）
４月中頃～ 基礎疾患のある方　(約2000人目安)
４月末頃～ 一般(16歳以上)
市から配布されるクーポンを使い、完全予約制の上、医療施設等(※現在調整中)において接種します。

【コールセンター】
☎0972-86-2259
※医療施設へのお問合せはご遠慮ください

新型コロナウィルスワクチン接種体制確保事業
4,937万9千円

② 臼杵市経営継続支援事業

新型コロナウィルス感染拡大第3波の影響を受け売り上げの減少が続く中小規模事業者に対し経営継続を支援します。

【補助額】
◎賃貸事業所…13万円
◎自己所有事業所…８万円
(どちらも1件につき)
対象は市内に事務所がある事業者で、昨年12月～今年2月の間のいずれか1ヶ月の売り上げが、前年同月比30％以上減少している場合に受け取ることができます。

【申請期限】令和３年３月12日(金)まで
※必要な書類を揃えて郵送にて提出してください。
※詳細は臼杵市ホームページで確認してください。申請書もホームページからダウンロードできます。
【お問い合わせ】
☎0972-63-1111
産業促進課(内線2261・2262)

臼杵市経営継続支援事業補助金　検索

臼杵市経営継続支援事業補助金
5000万円

「核兵器禁止条約の批准を求める意見書」を提出

1月22日、核兵器を違法であるとする「核兵器禁止条約」が発効しました。開発、生産、実験、取得、保有、貯蔵、使用とその威嚇にいたるまで、核兵器に関わるあらゆる活動を禁止するものです。
12月定例会で「核兵器禁止条約の批准を求める意見書」を会派(市民クラブ)として提出しましたが、反対多数により不採択でした。

1. 核廃絶の先頭に立って、核兵器禁止条約を署名、批准すること。
2. 核兵器保有国に対して被爆国として署名、批准を促すこと。

※この条約に参加を求める類の意見書については528自治体が採択し提出しています。(2021年1/22現在)
日本は唯一の戦争被曝国として条約に批准して「核なき世界」の実現に力を尽くしてほしいと思います。

【意見書とは】
地方公共団体の公益に関わることがらに関して、議会の議決に基づき、議会としての意見や希望を意見書として国会や関係行政庁に提出できることとされています。
意見書には法的拘束力はありませんが、住民代表である議会の総意として尊重されます。

臼杵市議会では、各定例会に会派単位で意見書案を提案し、会派代表者会議での協議(全会一致)により、議員発議で提案し採択します。
政党のイデオロギーや枠にとらわれすぎないよう、さまざまな議論の上で意見書の提出ができればいいと思います。

トピックス 臼杵市諏訪山体育館がリニューアルオープン

臼杵市諏訪山体育館が改修を終えて1月4日からリニューアルオープンしました。
○体育館の床が全面新しくなり壁面もホワイトベージュに塗り替えられ、照明がLED化。
○入り口横に、ミーティング室を新設(避難所の際には要配慮者の居住スペースとなる)。
○トレーニング室が増えて機器も増設、空調も完備。更衣室にはシャワーもあり。
○屋根と屋上を吹替改修。
○トイレのバリアフリー化(オストメイト対応)。
○エレベーター(9人乗り)の設置。
○非常用発電設備で災害時に電源を確保。(最大72時間)
○放送設備がついた。音楽も流せます。

とても明るくなりました!!

さあ！スポーツを楽しみましょう!!

◆使用料金が改定されました◆※1時間につき
【1階体育室】
◎半面550円→660円
◎全面880円→1320円
【トレーニング室】110円→150円

2020年12月定例会一般質問

◆「同性パートナーシップ証明制度」について

同性パートナーシップ証明制度とは？

法律上、婚姻が認められていない同性のカップルがお互いを人生のパートナーとして宣誓することで、公に認められたパートナー関係であるという証明書を自治体が発行するものです。

※婚姻関係と同等の法的効果を持つものではないが「住んでいる町で自分たちの存在や関係がしっかりと認められている」という実感を持つことができる。

※公営住宅入居や生命保険の受取、夫婦や家族間にしか認められていない福利厚生サービスなどが受けられるといったメリットが付与される場合もある。

質問 全国の自治体が取り入れる中、臼杵市でも「同性パ-トナ-シップ制度」を検討してもらいたいが、臼杵市の認識は？

お答え(部落差別解消推進・人権啓発課長)

当事者の方々が抱える生きづらさの解消に資する制度として、どのような支援ができるかを研究し、同性パートナーシップ制度の導入に向けた検討を進めていきたい。

市民や企業に対する性的少数者への理解はまだ充分とは言えないが、今後「誰もが一人一人の個性や違いを認め合い自分らしく生きられる社会」を実現するために様々な機会を通じて、周知啓発を進める。「市民が主役のまちづくり」を積極的に目指す。

当事者にも、どのような行政サービスが提供できるか、制度の導入に向け前向きな検討を進めたい。

当事者のメッセージ

知られてない、言えないだけでLGBTQ＋の人は左利きやAB型がいる確率と同じくらい、いるといわれています。

私は、FTM（生まれもった体は女性だが性自認が男性）です。今は、ホルモン治療をし今後は乳腺摘出手術等も考えています。

今の日本は同性婚が認められておらず、私は戸籍を変更しなければ結婚ができない状況にあります。パートナーシップ条例や制度があれば、子宮卵巣摘出手術までせずに生まれた際の性のままでパートナーとして生活することも可能になります。

そして私のようなFTMの人達だけでなく、ゲイやレズビアンの人達は条例や制度のある場所で暮らすことを望むと思います。

私は学生で40人のクラスですが、ゲイとバイ・セクシャルの友達がいます。そのぐらいの確率で周りにいることをたくさんの人達にも知ってもらえると温かい場所になると思います。　（20代　臼杵市在住の方）

賛同者のメッセージ

今の日本では「婚姻」と言う関係を結べるのは異性同士のみとされています。私は、性別にかかわらず自由なパートナーシップが認められるべきだと考えます。同性パートナーシップ制度については、婚姻関係と比べると力が弱いことが指摘され、制度を設けても利用するカップルはそれほど多くないのではないか、などということがいわれます。しかし「同性パートナーシップ制度」には大きな意味があります。

制度ができることで、性の多様性への尊重が広がり、行政・企業・地域などがあらゆる取り組みを推進するきっかけになるということです。臼杵市が「異性愛だけでないセクシャリティを肯定し、多様性を重視する」というポジティブなメッセージを広く市民に伝えることができればそれが先駆けとなり、大分県全体や他の自治体にも広がっていくと考えます。そういったアピールは若い世代の定住にも有効だと思います。

私の大切な故郷が多様なセクシャリティを前提としたすべての市民のための臼杵市であることを願っています。

（10代　臼杵市在住の方のメッセージより抜粋）

同性パートナーシップ制度は全国で広がっています。

●11月時点で、65の自治体で導入されている。
●国の総人口の30%以上をカバー。
※九州で導入自治体がないのは、大分県と佐賀県だけとなっています。

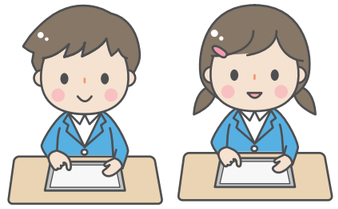
◆「ギガスクール構想」について

臼杵市では、国の方針に沿った「ギガスクール構想」の実現に向けて、準備を進めています。

教育のあり方が大きく変わろうとする今、このギガスクール構想について、教育委員会と学校現場、保護者(市民)がそれぞれ共通の理解を深めながら、より良い学びの環境作りをていねいに進めていく必要があると思い、質問しました。

質問 文部科学省が示す「ＧＩGA(ギガ)スクール構想」どのように実現していくのか？

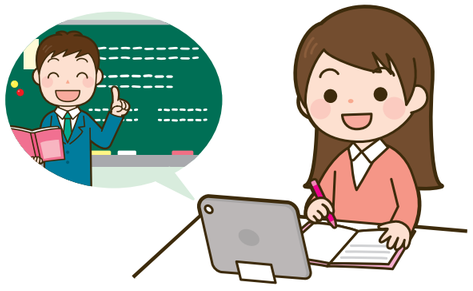
お答え(学校教育課長)



・ギガスクール構想は「すべての子どもたちに世界につながる革新的な教育を提供していこう」とする構想です。児童生徒に１人１台のタブレット端末を準備し各学校に高速大容量の通信ネットワークを整備して、2021年４月からの本格運用を計画しています。

・端末や大型モニターの活用により授業全般にわたって、教師の指示や子どものリアクションがわかりやすくなり、効果的・効率的な学習が進む。例…遠く離れた地域の人との情報交換(社会科)、自分のプレイを動画撮影して振り返る(体育)など。

・実効性を高めるため、また教職員を支援するために「臼杵市ICT教育推進協議会」を立ち上げて端末を活用した授業の実践例を集約したり、研修等の検討を重ねています。現在市内に１名しかいない「ICT支援員」※の増員を目指す。



・多様な学習機会を保障するために、端末を活用した家庭学習も進めていく(Wi-Fi環境などについては調査・検討中)。

臼杵の子どもたちがICT機器を道具として使いこなしながら、豊かに学ぶことのできる体制作りを進めていきます。

そもそも、よく聞く「ICT」って何？

ICTとは、「Information and Communication Technology」の略で情報通信技術という意味で、人とインターネットが繋がることや、インターネットを通して人と人が繋がることを表します。

※「ICT支援員」とは？

ソフト活用やネットワークなどに関する技術や知識、また、教育現場で行われる教育活動や教員組織の理解や問題解決のためのコミュニケーション力などさまざまな実践的能力が要求される仕事です。

文部科学省によると、"日本の学校でのデジタル機器使用時間はOECD加盟国で最下位"だということで、これからの時代を生き抜く子どもたちに、ICTを活用した主体的な学びは絶対不可欠なものです。

それぞれの子どもたちが身のまわりから問題や課題を見つけ、関心を高めながら主体的に学習していく授業形態が望ましいですね。可能性に期待「大」です。